

「マーケットの浅読み・深読み」

発行・編集:FXニュースレター

執筆担当:斎藤登美夫

◆◆◆ No.0663 ◆◆◆

21/11/24

【 来年の FOMC ボードメンバーは!? 】

当レターでも 6 月 9 日、7 月 14 日、そして 8 月 18 日付けと 3 ヶ月連続で取り上げてきたFRB人事が先日決着した。様々な思惑が絡み合い紛糾したものの、周知のようにもっとも注目されていたFRB議長はパウエル氏の再任、それに対しブレイナード理事が副議長に昇格となり、こちらはサプライズだったと言える。金融市場では「政策が継続性される」との見方から、パウエル氏の再任を好感する向きが多く、実際東京が休場となった翌 23 日のアジアタイムにドルは続伸。対円では 4 年 8 ヶ月ぶりの 115 円台を一時示現したことはご存知のとおり。しかし、本当に大事なものはFRB議長の人事ではなく、実はまだまだ予断を許さない状況にある。以下で改めてレポートしてみたい。

◎欠員も少なくなく、まだ不確定要素多い

米国の金融政策を決定するFOMCは、正副議長を含めた 7 名の理事と毎年顔ぶれが変わる 5 名の地区連銀総裁、合計 12 名のボードメンバーの投票によって決定される。そして、パウエル氏など正副議長であっても、所有するのはたったの「1 票」で重さはまったく変わらない。つまり、来年以降の米金融政策を考えるなか、FRB議長が誰になるかということももちろん大事ではあったが、より大事であるのは「来年のボードメンバー」の顔ぶれというわけだ。

そうした視点から、来年のFOMCメンバーを見た場合、中核をなす「理事」が現在すでに正副議長を含めた 7 名のうち 6 名しかいない。1 名空席なのだが、それに加えて下表を参考にされたいが「クォールズ氏は今年 12 月末で退任」、そして「クラリダ氏は来年 1 月に任期切れ」となる。したがって、このままいけば最悪の場合、7 名の理事のうちようやく過半数を超える 4 名しか残らないという事態に陥る可能性がある。そこでバイデン米大統領は、今回決定したパウエル議長とブレイナード新副議長だけでなく、空席となっている理事ポストの人事も含めてFRBの新体制案を年内にも公表する方針とされるが、議会内の反対派の存在もあり遅々として進んでいないのが現状だ。人選をめぐり、まだまだ一波乱も二波乱も起こりうる危険性もないではない。

一方、顔ぶれがある程度一定の理事とは違い、メンツが毎年入れ替わる 4 名の地区連銀総裁(NY連銀は理事職と同等扱いで、毎年参加)だが、来 2022 年はクリーブランドとカンザスシティ、セントルイス、ボストンの 4 連銀総裁が投票権を有する見込みだ。

そして、エコノミストや在米筋など専門家の意見をまとめてみると、金融政策として「タカ派」的なスタンスを取っている向きがやや優勢とされている。FOMC議事録などで、「早ければ 2022 年終盤にもゼロ金利政策の解除を検討する可能性がある」とのスタンスも取り沙汰されるなか、ボードメンバーにタカ派の存在が多くなるということは「早期利上げ派」にとって力強い援軍を得たことになるのかもしれない。

しかし、若干気掛かりなのは現在空席となっているボストン連銀総裁の後任人事。「タカ派」に分類されていたローゼングレン総裁が表向きは「健康問題」だが、実際のところは例の「金融商品取引問題」で退任が発表されており、それにより「当初よりはタカ派色が弱まってしまった」(外資系ストラテジスト)感も否めない。もちろん、ローゼングレン氏の後任次第なのだが、右表のとおりそれほど「タカ派」一辺倒というわけでもなく、思いのほか「バランスの取れた」メンバーで金融政策の議論がスタートすることになる気もしている。(了)

◎2022年のFOMCボードメンバー		
役職	氏名	スタンス
議長	パウエル	中立
副議長	ブレイナード	ハト派
理事	ボウマン	中立
理事	ウォラー	中立
理事	*クラリダ	*中立
理事	*クォールズ	*中立
理事	欠員	***
NY	ウィリアムズ	中立
クリーブランド	メスター	タカ派
カンザスシティ	ジョージ	タカ派
セントルイス	ブラード	中立
ボストン	欠員	***

注:①クォールズ氏は今年12月末で退任
同 ②クラリダ氏は来年1月で任期切れ
なお、スタンスなどは一部に予想を含む

当レターは、情報提供のみを目的としたものです。内容に関して正確であるよう注意を払っておりますが、その正確性を保証することはできません。投資や運用にあたっての最終的な判断は、あくまで読者自身の責任と判断によって、ご利用いただくようお願い申し上げます。また、本稿の無断転載・転送もご遠慮ください。

なお、本稿に関する問い合わせは『FXニュースレター』までお願い致します。

